



会派 自由民主党 発議案

# 船橋市議会議員定数条例の

## 一部を改正する条例

提案理由 定数50人を4人減らし46人に

令和元年第3回市議会定例会において、我々市議会では市民センター、運動公園、総合体育館、市民ギャラリーなど全22種類の施設において利用料、使用料を値上げする市長提案の条例を可決しました。この結果、市民に約1億6千万円にのぼる負担を課することになりました。

我々会派自由民主党は、当時の議案質疑において市民に負担を求めるならば行政側の身を切る改革について尋ねたところ、市長より「人員配置の検討、業務の改善、サービス提供のあり方の工夫を行い、総人件費の徹底した抑制、職員採用数の厳格化によるスリムな組織づくり、そして事務事業の一層の効率化を徹底的にやっていく」と答弁がなされました。また、今定例会には、市長より「市民と痛みを分かち合うことが必要」とのこと、期間限定ではありますが、ご自身の給料削減の条例改正の議案が上程されました。

市民、行政ともに負担を強いられる厳しい財政状況に陥った行政運営の責任は市長のみならず、それを監視する我々議会にもあり、我々議会も身を切る負担をすべきと考えます。これが、この条例を提出する理由であります。



令和2年第1回市議会定例会（令和2年3月25日）

賛成 14

（会派 自由民主党 7名）

（会派 市民民主連合 7名）

反対33  
退席2

否決  
されました

会派 自由民主党  
賛成討論動画



会派 自由民主党提案理由  
説明動画



市議会議員<sup>50名</sup>  
議決態度



船橋市議会 会派 自由民主党

〒273-8501 千葉県船橋市湊町2丁目10-25 10階  
船橋市議会 会派 自由民主党  
連絡先 ▶ city.funabashi.jiyuminshu@gmail.com

# 令和2年4月 会派 自由民主党 ⇒ 松戸 徹 船橋市長へ提出 新型コロナウイルス対策に関する緊急要望

## 1 情報発信について

現在実施しているコロナ関連情報について、市民の不安やいたずらな風評を払拭するためにも、出来るだけ詳細でわかり易い情報発信のあり方の検討に努めること。

事業連携している様々な機関・団体に対する伝達方法及び各種配布物の配布方法等の整理に努めること。

5月6日以降の年度内各種事業については、安全面を最大限配慮した上で検討を行い、中止や自粛継続の際は出来るだけ速やかに関係各位に伝達するよう努めること。特に市立学校については夏休み期間の開校や部活動のあり方も含め各事業の検討を行い、可及的速やかに児童・生徒及び保護者に発信するよう努めること。

市民の中には市のホームページやメール配信を利用できない方もいることから、例えば防災無線やまちの掲示板、各町会の掲示板を活用するなどを検討し、アナログでの即応型伝達方法構築に努めること。但し、町会などは機能できないことを想定し取り組むこと。

## 2 市政運営について

この度の事態により、従来の実施方法の概念が通用しない事案がかなりあると思われることから、現状の非常事態が長期化することを勘案し、全ての部署の全ての部門で従来型と緊急事態対応型の検証を行い、全ての市民及び従事する職員に出来る限り影響が出ない体制構築に努めるとともに、様々な格差が生じることの無いよう申請や給付事業をはじめ、各種事業でのセーフティーネット等の検討に努めること。

更に今後も様々な課題が発生する可能性があります。特に瑣末な問題と思っていた事柄から深刻な問題に発展する可能性もあることから、各部署間での情報共有を徹底し、可能な限りの様々なシミュレーションを想定したうえで、市一丸となって取り組むよう努めること。

従事する職員のケア等は実施していると思いますが、それでも特定の部署や職員に過度な比重がのしかかり

続ける懸念があるので、これまで以上のケア体制構築に努めること。

## 3 医療体制について

医療機関に対する連携・支援については現在でも実施されていると思いますが、長期戦になることを踏まえ、マスクや防護服の手当をはじめとする医療機関支援をこれまで以上に充実するように努めること。

杉並区や葛飾区におけるテントを活用した検査実施や奈良県生駒市におけるコロナ対策専用の救急車両整備など、他自治体で既に実施されているあらゆる対策について情報収集し、船橋で可能かどうかは別としても出来る限り検討し、実施出来る事項は速やかに推進するよう努めること。

## 4 学習支援について

学校再開時に極端な学力格差がつかないように、自宅での学習指導については、課題の提供→回収→添削→フォロー体制の確立に努めること。

休校中の子供達へのフォローのため、電話やメール等によるコミュニケーション体制構築に努めること。

全児童・全生徒に対するタブレット等の利用環境を早急に整えるために、国に対し整備予算を強く要請すること。

受験等子供達の将来に大きく影響する様々な事案に対応しなければならない事態になっていることから、学校単位ではなく、船橋市として統一的な方針を掲げ、公平性を期するためにも強いリーダーシップ発揮に努めること。

この度の事態で各学校・各教職員が過度な対応を迫られることも想定されるので、支援体制の構築に努めること。

## 5 国・県・近隣自治体との連携について

経済・医療をはじめとする様々な対策については国・県の支援如何に関わってくることから、近隣自治体及び各中核市とより一層綿密な連携を取り合い、現状に即した忌憚りの無い要請・提言を出し続けるためにも船橋市がリーダーシップを発揮するよう努めること。

また市独自で実施できる若しくは実施する必要があると思われる様々な事案については、躊躇せず速やかな検討・実施に努めること。

## 6 市民へのメッセージについて

船橋市においては緊急事態宣言発出後2週間あまり経過した現在でも新型コロナウイルス感染認知件数が増え続けております。また、我が会派には市内の公園や駅ビル等駅周辺、ファーストフード店、スーパーマーケット等での密集状況や、対応が十分に図られない

中での（町会などでの）集会・会議実施などについて懸念する声が多数寄せられています。

つきましては市において徹底的な注意喚起を出し続けることに加え、各事業者に対し注意喚起に関する更なる協力要請の実施を強く求めます。

一方で、この状況がいつまで続くのかとの声も寄せられており、市民の多くが現状に疲弊してきていることが窺えることから、市民を励ますメッセージを出し続けることも重要と考えます。

この相反する2つの概念を発信し続けることは大変な作業だとは思いますが、船橋市の未来の為に市一丸となり、あらゆる手段を駆使して全市民に伝える作業を全うして頂きたいと切にお願い致します。

以上要望を挙げさせて頂きましたが、そのために必要な協力は我が会派としても最大限行う所存であることを申し添えます。

## 船橋市新型コロナウイルス感染症緊急対策

### 船橋市緊急対策パッケージ(補正予算額 約12億円)

令和2年4月21日

#### 1. 感染症拡大防止のための医療提供体制の整備・充実(約3億5千万円)

- ・PCR検査外来(ドライブスルー方式)を新たに開設
- ・医療機関への支援
- ①帰国者・接触者外来への支援
- ②患者受け入れ病床の確保のための支援



#### 2. 安全・安心な生活を守るための支援(約1億6千万円)

- ・住居確保給付金の拡大
- ・妊婦に布製のマスクを配布
- ・家庭学習支援のための環境整備

#### 3. 市内経済維持のための事業者支援(約6億8千万円)

- ・中小企業者等に対する賃料助成
- ・事業者向け助成金等の臨時相談窓口設置

詳しくはこちらまで▶



新型コロナウイルス対策に関する緊急要望書提出

船橋市議会 会派  
自由民主党

会派代表  
佐々木 克敏(5期)  
総務委員会(委員)  
広報委員会(委員)  
議会運営委員会(委員長)

いとう 紀子(2期)  
健康福祉委員会(副委員長)  
広報委員会(委員)

長野 春信(2期)  
建設委員会(副委員長)

杉川 浩(3期)  
文教委員会(委員長)  
予算決算委員会  
理事会(委員)

浅野 賢也(2期)  
市民環境経済委員会(委員)  
予算決算委員会理事会(委員)

滝口 宏(5期)  
市民環境経済委員会(委員)

七戸 俊治(7期)  
第56代議長  
建設委員会(委員)